

「会社分割法」 施行後の沖電気の会社分割の動きをみる

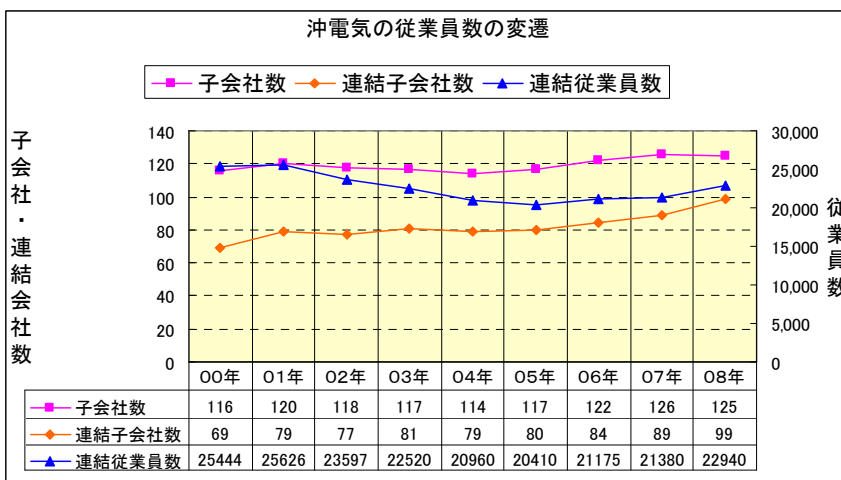
会社分割法を沖電気はリストラ支援法として悪用

雇用・労働条件の破壊へ さらなる事業売却・分社化は許せません!

* 2000年成立 01年4月1日 会社分割法・労働契約承継法施行。施行後の沖電気では
たびたびの会社分割の連続。沖電気で設立した主な会社及び分社独立した会社は、主な企業
だけでも20社以上の多数。OKIに働く仲間の1500人以上が影響を受けています。

主なものを上げると

2001年	オー・ピー・エム (OCCの製造)	49人	→08年フジクラの子会社・シスコに転籍
2002年	ウオンツ	48人	(OCT)
2002年	シーエイ・テクノ	40人	(OCT)
2002年	シーエス・テクノ		(OCT)
2002年	ジェイアイピーテクノ	2005年本庄ネットプロGRESSを吸収し250人	
2002年	プリモテック	80人	
2002年	ブロード・アクセス	30	
2002年	沖コンサルティングソリューションズ	30人	
2002年	沖テクノクリエイションズ	160人	→06年10月 沖電気が吸収
2002年	Ami ソフトウェア	42人	(OTS)
2002年	沖ネットワークエルエスアイ	100人	
2003年	オー・エフ・ネットワークス	50人	
2003年	OEGテクノ	27人	
2004年	アドバンスト・ウエーブ・システムズ		
2005年	沖電気ネットワークインテグレーション	210人	
2005年	沖テレコム		
2005年	オキ・ニューエモーション	17人	
2006年	沖アドバンストコミュニケーションズ	42人	(OTS)
2007年	沖ソフトウェアエキスパート コミュニケーションズ	30人	(OSK)
2007年	イー・イー・ジー	34人	
2008年	OEFプロテクノ	219人	(OEFとエールテックスの合併)



有価証券報告書では、「主な子会社の内
25社が連結に含まれていない」と、
なっている。

2008年 半導体事業、通信の次世代 (NGN) 部門の分社予定 約6700人 (連結)